

# 平成29年度 第3回 和泉総合高校 学校協議会 議事録

日 時 平成30年2月3日(土) 9:30~11:45

場 所 本校 応接室

出席者 委員(敬称略)

古川 恵美 葛城 雅之 一井 正次

竹田 竜彦 川端 幹子 下荒神 亜矢子

学校・事務局

校長 事務部長 教頭(2名) 首席(2名)

生徒指導部長 進路指導部長

## 1. 校長挨拶(校長)

4月よりエンパワメントスクールとなります。1月の公立中学校長協会の希望調査結果では210名の定員に対し293名が希望しています。伝統を生かしながら進めていきたいと考えています。

## 2. 学校の状況について

### ①エンパワメントスクール改編について(首席)

10分学習、モジュール授業、エンパワメントタイム、SC、SSW、CC、入学者選抜について説明。

### ②生徒の状況について(生徒指導部長)

懲戒件数、遅刻件数の昨年度との比較による現状説明。

エンパワメントスクール改編に向けての校則変更についての説明。

服装指導と頭髪指導まとめて「みだしなみイエロー」とする。

### ③進路状況について(進路指導部長)

現在の進路確定状況を説明。

### ④学校教育自己診断について(教頭)

全24項目中、項目5、7、13、19について説明。

### ⑤学校経営計画及び学校評価について(校長)

学校教育自己診断の結果と分析及び中期的目標の自己評価欄を説明。

めざす学校像と中期的目標についての意見を求める。

### ⑥校則の見直しについて(教頭)

頭髪指導に関するアンケート調査結果を説明し、意見を求める

### 3. 全体協議・質疑応答

#### ①校則見直しについて、各委員の意見を求める。

- 中学校の現状を説明。染色・脱色は禁止しています。式典には参加させない。遠足は学校で指導する。違反者には、保護者と話し合いを持ち理解を求める。

アクセサリーはそれほど問題にならないが、頭髪は、人権問題がかかわっている。地毛証明書を発行することも人権侵害にあたると考えている。他方、多くの該当しない生徒にルールを守らせるにはどうしたらよいか。生徒のことを理解し指導できる教員はいいが、そうでないと、形だけの指導となりトラブルの原因となる。また、保護者や生徒にどれだけ説明できるか、信頼関係が作れるかによる。

過去3年間大阪では頭髪に関し懲戒数は0であり、過去に例がないのであれば懲戒のような指導方法は検討する余地があるのでは。

身だしなみイエローの判断について、教員の感覚はそれぞれ違うので考慮が必要である。保護者や生徒からていねいに聞き取り、理解を求めることが重要である。

- 時代とともに価値観が変化している。若いころはジーパンをはくことですら不良と言われた。今は、見守り隊の活動で小学生、保護者をよく見ているが、ジーパンをはいている方が多くいる。第三者から見て、金髪で登校している生徒を見かけると、やはり違和感がある。地毛はしかたがないが、どこかに基準を作る必要があるのかと思う。おしゃれは、休みとか卒業してからでいいのではないか。人権の問題があるので、地毛の生徒に指導をする必要はないと思う。
- 地毛を染めさせるのは、大きな人権問題である。すごく赤い、黄色い等は、個性とは認めないが、地毛を染めさせるのは人権問題である。国際的な人権感覚を養ってほしい。
- 自身の体験を説明。個性と人権をとりちがえている保護者もいる。理解を求めてすすめてもらいたい。
- 地毛は認めてほしい。おしゃれで染めている学生が増えているが化粧も増えている。学校で指導しても家庭での指導がないと困難ではないかと思う。どれだけ理解してもらえるか疑問ではあるが、理解をもとめるしかないのでは。
- 頭髪が茶色で新任教員になった方が、指導主事から注意されて悩んでいた事例を紹介。  
「懲戒」以外の言葉でどう保護者に学校にきてもらうか。そしてどう伝えるかが問題。そして保護者の話をていねいに聞き取っていただきたい。

②めざす学校像、中期目標について各委員の意見を求める

- めざす学校像 人権、キャリア、学力は大切だと思う。職員が、目標のどれに基づいて行動しているのか認識していることが大切である。
- めざす学校像は今年からですか。  
→これは、長期の目標であり修正はしていません。
- 働くことの意欲、社会を生き抜く力は大切だと思う。最近、この2つは希薄となってきているように感じる。
- インターンシップは仕事の理解度が高くなるので、増やすように検討していただきたい。
- 新一年生と在校生の指導。在校生を大切にしてほしい。
- 在校生と新一年生の両方を大切にしてほしい。互いを知れる活動を取り入れていただきたい。

